

# 秋のロマンを再発見 丘陵のある街で



こんにちは、あずまです。今月は東上線の東松山駅周辺を散策してきました。私たちがいるのは下沼公園。女沼とも呼ばれています。この弁財天と、北に歩いて上沼(男沼)のそばの松山神社にお参りすると、恋の思いが叶うそうです。(MAPの①)

## 今回の登場人物



栗橋友子  
あずまの短大時代からの友人。越谷市に暮らす保育士。



松原早苗  
あずまの短大時代からの友人。海外旅行と料理が趣味。



業平あずま  
業平家の長女。母親が経営する小学生向けの英会話教室を手伝う。趣味は旅行。



「東松山駅」は、池袋から急行で約54分。駅の開設は大正12年です(開設時は「武州松山駅」)。レンガの外壁で覆われたステーションビルの2階には「東松山市観光案内所」があり、マップなどの観光情報を入手できます。

# 東松山

(ひがしまつやま)

埼玉県のほぼ真ん中にある街の、その中心ともなるのが「東松山駅」。急行で池袋から約54分という通勤圏内にありながら、比企丘陵をはじめ雄大な自然に囲まれて、昔と今が心地よく交差しています。この環境はウォーキングでも注目され、特に11月初旬(今年は2日〜4日)に開かれる「日本スリーデーマーチ」は国際的な大会で、世界のウォーカーたちも参加します。秋景色に包まれた東松山はまた格別な趣がありますよ。



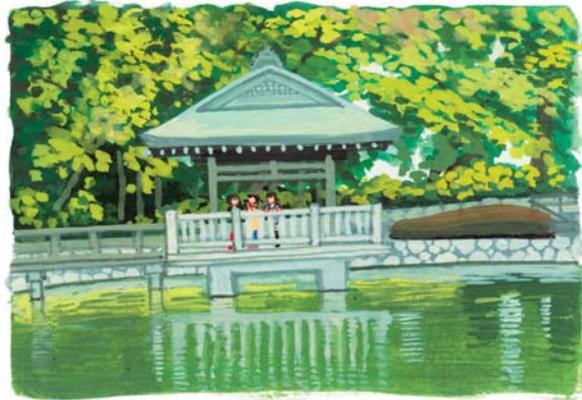
再び駅前へ。東松山といえば、市内に50店もある「やきとりの街」。やきとりといっても実は豚肉で、みそだれでいたたくのが東松山スタイル。ランチで食べられるお店を発見！ビールではなく、ご飯と一緒に満喫しました。



まずは、駅からバスで「皆見苔院」へ。古墳時代の後期～終末期の横穴墓群で、219個の横穴が確認されているそうです。国の天然記念物のヒカリゴケでも有名。そばには「吉見町埋蔵文化財センター」も併設されています。(MAPの②)



上沼の近くにある「八雲神社」は、社殿の見事な彫刻で有名です。天王さまと呼ばれる夏祭りが例祭として開催されますが、この神社の御利益は、夏の悪霊除けと暑気払いだとか。猛暑続きの昨今、頼もしい神様です。(MAPの①)



上沼公園にやって来ました。男沼とも呼ばれます。池に建つ東屋は、風情があっていいですね。春には下沼公園と同様、沼を囲むように植えられた桜が咲き誇り、夜はライトアップされて幻想的な雰囲気になるそうです。(MAPの③)

## 『夢小路』、そぞろ歩いて 下沼から上沼へ——

東松山は、鎌倉時代から栄えた街。その歴史の香りが日常の生活に、さり気なく息づいているところが魅力です。たとえば駅の近くには下沼があり、いまは「下沼公園」としてきれいに整備されています。中央の沼に影を映すヤナギや弁財天を祀る小さな浮島、水辺に配した憩いのベンチも心地よい。そして、道は「夢小路」と名付けられた細い路地へと続きます。一見普通の裏通りなのですが、桜の季節には、道いっぱいに幻想的な灯籠が灯り、お花見を彩るイベント「夢灯路」が開催される場所。道沿いに懐かしい家並みを見つけたりしながら、私たちもちよつと街の住人になり、そぞろ歩きましょう。

やがて到着するのが、上沼。この「上沼公園」では、まず沼を囲む紅葉が見頃です。東屋や遊び場、せせらぎもある園内は広く、樹木の織りなす光景にしばし心が癒されます。もともと上沼一帯は昔から神社の多い地区。公園前の参道を入れれば古き鎮守「松山神社」がありますし、境内には「大鳥神社」が並びます。静かな佇まいですが、12月の西の市には大賑わいすると聞きました。近くの「八雲神社」もまた必見。社殿4面をぐるりと飾る彫刻は江戸の彫工の作、圧巻です。

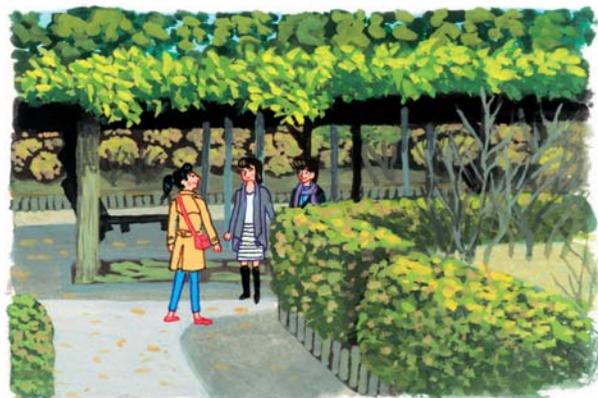
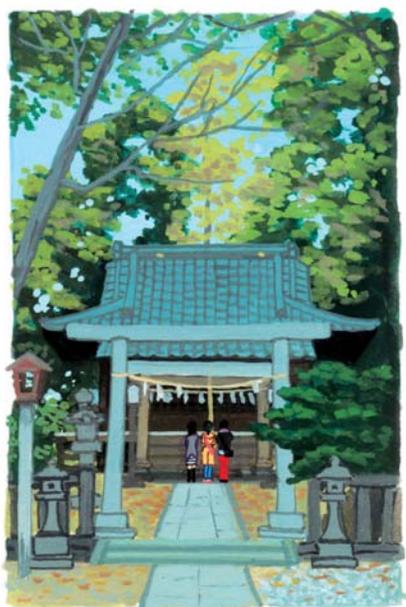
ちなみに地元では、下沼（弁財天）を「女沼」、上沼（松山神社）を「男沼」と呼び、両方にお参りすれば恋が叶うといわれます。また、拝殿に「めおと狐」の大絵馬がある「箭弓稲荷神社」も縁結びの名所ですから、こちらも巡れば「縁結びトライアングル」。期待はさらに高まります。



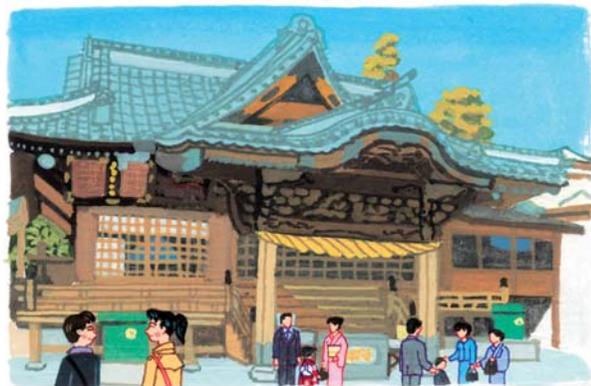
駅西口からも散策。ここは「氷川神社」。毎年11月23日に「金谷の餅つき踊り」が行われます。これは岩殿山に棲む悪竜を坂上田村麻呂が退治し、人々が喜びのあまり踊りながら餅をついてもてなしたのが始まりだとか。(MAPの(F))

旧松山宿の総鎮守として創建された「松山神社」です。恋愛成就のため、3人とも熱心にお参り。こちらの拝殿の彫刻も素晴らしかったですよ。毎年12月15日に西の市が開かれる「大鳥神社」が同じ境内にあります。

(MAPの(E))



神社の広大なぼたん園には、約1300株の牡丹が、来年の5月頃、また訪れたいものです。境内には「縁結びの木」があり、その前に縁結びきつねの可愛いカップルの像が鎮座。素敵なお土産になってくれるかも。(MAPの(G))



最後に訪れたのは、712(和銅5)年創建といわれる「箭弓稲荷神社」。名前から野球関係者の参拝も多く、ホームベースやバットの形の絵馬もありました。この時期はやはり「七五三」で参拝する家族で賑わっていましたよ。(MAPの(G))

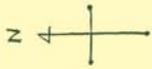
## 自然も史跡も多彩に楽しめる ここはウォーキング・タウン

その「箭弓稲荷神社」へは、駅西口から徒歩3分。創建は1300年も昔ですから、いわば街の歴史の象徴です。五穀豊穣・商売繁盛・芸道向上の神様として知られますが、「箭弓」を「野球」と読み、スポーツ必勝祈願でもお馴染みになりました。そのためバットやホームベース形の珍しい絵馬まであつて面白い。同時に江戸時代に建てられた荘厳な本殿も、忘れずに鑑賞してください。

伝統的な民俗文化に触れるなら、「氷川神社」へと向かいましょう。この由緒ある境内では、毎年11月23日に、「金谷の餅つき踊り」が奉納されるのです。その昔、悪竜を退治した坂上田村麻呂に捧げられた伝承の踊りは、実際に餅をつきながら舞い、ついた餅は見物客にふるまうというもの。踊り手の見事な杵さばきに心躍ります。

一方、さらに時代を遡り、行ってみたいのが国指定史跡「吉見百穴」です。ここは、古墳時代の横穴墓群。山肌一面に、現在219もの横穴が発見され、中にはあの貴重なヒカリゴケが自生する横穴まであります。かつて正岡子規が、神の代はかくやありけん冬籠と詠んだ碑もあり、遠く時を超え、有意義なひとときが味わえます。

数々の史跡と自然に富む東松山は、まさにウォーキングの街。約10万人が参加する日本最大級の大会「日本スリーデーマーチ」から、個人的な散策まで、歩く人の体力と目的に合わせて選べるよう多彩なコースが整っています。その情報やアドバイスが必要な場合には、「東松山市ウォーキングセンター」でサポートしてもらえます。



東松山市ウォーキングセンター

吉見百穴  
松山城跡  
岩室観音  
市野川  
市の川橋  
百穴入口

松山市民活動センター  
東松山市ウォーキングセンター

市立図書館

④ 八雲神社

③ 上沼公園 (男沼)

⑤ 松山神社

① 下沼公園 (女沼)

東松山市観光案内所

東松山駅

東武東上線

池袋 →

森林公園

なんじゅもんじやの木

⑦ 箭弓稲荷神社

松山南幼稚園

氷川神社

⑥

不動沼

箭弓稲荷神社のバット絵馬とベース絵馬。

### 東松山データファイル

〈東松山市観光案内所〉・・・●交通=東松山駅下車すぐ(ステーションビル2階) ●開館時間=9:00~16:00(12:00~13:00休館)

●休館日=月曜・祝日・年末年始

☎0493-22-8765

〈吉見百穴〉・・・●交通=東松山駅東口バス乗り場から「鴻巣免許センター」行バスで5分、「百穴入口」バス停下車徒歩5分 ●開館時間=8:30~17:00(入館は16:30まで) ●休館日=年中無休 ●観覧料=大人300円/小人200円\*

埋蔵文化財センターの入場料も含む。 \*11月14日の埼玉県民の日は「ひゃくあな祭」として無料開放 ☎0493-54-4541

〈吉見町埋蔵文化財センター〉・・・●交通・開館時間・休館日・観覧料=吉見百穴と同じ

●体験学習=勾玉づくり(約1時間)350円/琥珀勾玉携帯ストラップづくり(約1時間~1時間半)1000円/埴輪づくり(約1時間半~2時間)500円 \*受付時間は10:30~15:30(埴輪づくりは~14:30) ☎0493-54-9111